

3月あんずぐみだより

担任：橋本 志穂・本田 恵子

今年度もわずかになりました。ひとりひとりの表情を改めて見ると、何げないしぐさ1つにしても、1年前には見られなかった自信とたくましさを感じられます。新しい春がやって来たら、頼もしいお兄さん、お姉さんになってくれそうです。楽しい思い出、嬉しい出来事がたくさんあった1年間。残り少ない毎日が子どもたちにとって実り多いものになるようにしていきたいと思います。

3月の行事

- 3日(火) ひな祭りお茶会
- 7日(土) 修了式
- 10日(火) 交通訓練
- 17日(火) お楽しみ会・お別れ会
- 18日(水) 火災訓練
- 19日(木) 食育の日
- 21日(土) 出発式で在園児は休み
- 28日(土) 新年度準備で休み

3月の歌

- ・ひなまつり・つくしがでたよ
- ・たんぼぼ ・ほうほけきよ
- ・はる

3月の絵本

- ・ゆうびんやぎさん
- ・おおかみと7ひきのこやぎ
- ・おとうさんとさんぽ

3歳のお誕生日おめでとうございます！

★福山みつくん(1日生まれ)



「みっくん、がんばったー」とじっくりやり遂げる姿があります。難しい、出来ない、と苦戦することに対して、どうにかしてやってみようとする諦めない気持ちを持っています。

★皆吉まなみさん(5日生まれ)



周りのことをしっかりと見ていて、さりげなく手伝ってくれたり、声をかけてくれたりする思いやりの心が育っています。内面には自分の思いをしっかりと持ち、主張する力もついてきました。

★酒井なおきくん(29日生まれ)



言葉巧みに友だちを笑わせたり、知っている言葉で豊かな表現が輝いています。友だちとの遊びでは役割を決めてのごっこ遊びが大好きです。

●身辺自立～まつぼっくりになるもん～

あんず組では、生活の節目に保育士の声掛けでトイレにいました。最近は尿意を感じ自分でトイレに行けるようになった子も増えてきました。女の子はみんな和式トイレで出来るように練



習をしています。「お姉ちゃんトイレでできたもん」とトイレのドアから出てくるたびに嬉しい報告をしてくれます。

また、パジャマへの着替えが終わると、「ゴザしたい」「お布団する！」と午睡の準備をお手伝いしてくれるようにもなりました。「まつぼっくりさんになる」という意識を持ち始めた子ども達は意欲が溢れてきています。残り1ヶ月、子ども達が自分でできることを広げて、自信を持って大きくなっていけるように、子ども達を支援しながら一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

●豆炒りをしよう



節分にむけて自分たちで投げる豆を炒って見ました。一人ずつ順番に熱い鍋に気をつけながら木しゃもじで混ぜます。「お豆には力があるんだって。お豆の力を借りてお腹の鬼を追い出そうね」とお話をすると、力を入れつつもこぼさないようにと気をつけながら混ぜてくれました。豆を炒ると漂う香ばしい香りに気づき、「いいにおい」「おいしい」と香りも楽しみながら豆炒りができました。

●鬼は外！福はうち！豆まきしたよ

「鬼は怖い」というイメージもありますが、「鬼」はみんなの心(お腹)の中において、色々な形に変身して現れるもの、心の鬼を克服しようとする気持ちが持てるように節分の会に参加しました。節分の会では由来のお話を聞き、お腹の中の鬼を追い出すために豆まきをしました。保育士が鬼のお面をつけて登場すると「おには一そと！おには一そと！」と一生懸命豆を投げて鬼を払おうとしていました。「そのくらいじゃあ効かないぞ」と言われると「どうしよう…つのでグリグリする！せーの、グリグリグリ」とつのはなんにもならないかごっこに発展して楽しく鬼を追い払う事ができました。追い払った鬼はみんなのお腹の中にいる鬼を持っていったこととお話すると、「もう泣かない」「お野菜食べるもん」とお腹がすっきりしたことをお話してくれました。



●お箸で食べよう！

3月生まれのお友だちも園のお箸を使って給食を食べ始めました。早くにお誕生日を迎えた子ども達が先輩のような気持ちで「グーじゃないよ。こうよ」と持ち方を教えてくれました。お箸で上手におかずを掴めたり、ご飯をピカピカにできたとき、「みてみてーできたー」ととても嬉しそうにしています。毎日の繰り返しの中で、お箸の正しい持ち方を習得していています。



●お弁当包みに挑戦中！

まつぼっくり組への進級に向けて、お弁当包みにも挑戦中です。ままごとなどの遊びの中でハンカ

チを使ってしてみたり、汚れた洋服を入れるビニール袋の取っ手部分を結ぶことで結び方を覚えています。「バツにしてトンネルを通す、キュー」を合言葉に結び方を楽しく覚えられるように取り組んでいます。

●言語 ～2月のことばを紹介します～

～イス取りゲームをしていたとき～

なおき：イス取りゲームをする前に、『座れなくて悔しくても泣かないで応援しようね』保育士が声をかけていました。実際にやってみると思うように椅子に座れずに泣いてしまいました。とても悔しかったのでしょ、うわーん」と声をあげていました。しばらく泣くと吹っ切れたように涙が止まり、友だちがしているイス取りゲームの続きを見始めました。

なおき：隣にいた保育士に向かって

「ぼく、チャンピオンじゃなかった…泣かんもん！」

保育士：あんなに泣いていたのに…と思うとおもしろくなって、つい笑ってしまいました。

なおき：目を細めて保育士を指差し、にやっと笑いました。

なおきくんは普段から、へえ～こんなこと言えるの？と思うように言葉を巧みに使ってお話が広がっています。『泣かんもん！』という言葉の中に『本当は泣きたくなかった。』という願いがあることが伝わってきました。つい笑ってしまった保育士に対してもおもしろい表情と仕草で上手にごまかしたのです。もうすぐでやっと3歳になる小さな心と頭で、いろんなことを感じながら、時にはお兄さんのような一面を見せる姿になおきくんの成長を感じたひと時でもありました。

●運動 歩く、走る、よじ登る



園の周辺の田んぼには舗装されていない昔ながらの土手がたくさんあります。細い田んぼのあぜ道をバランスをとりながら歩いて、一本橋を渡り、土手の斜面を手足をしっかりと使いながらよじ登って進みました。子ども達の中には「どこに着くかな」「何があるかな」と遠い世界で冒険をしているかのようなドキドキわくわくする気持ちが湧いてきていました。ちょっと難しいような場所でも「登ってみよう」「行ってみよう」という思う前向きな気持ちになり、「できた」「ここに着いた」と達成感を持てるお散歩を楽しんでいます。

この頃は梅の花が満開で、舞い降りる花びらを捕まえたり、草花の中にテントウムシを見つけたりと、春の訪れを感じるような出会いを楽しんでいます。

この頃は梅の花が満開で、舞い降りる花びらを捕まえたり、草花の中にテントウムシを見つけたりと、春の訪れを感じるような出会いを楽しんでいます。

●歌

発表会にむけての取り組みの中で、つのはなんにもならないかの

劇遊びの歌をたくさん歌って楽しんでできました。「大きな声で歌ってみよう」と呼びかけるとついつい怒鳴るような声になってしまいがちですが、「ピアノと同じようにきれいな声を出せるかな」という声掛けにかえると、合わせた音を出してみようと意識しようとすることうになりました。発表会を通して、他のクラスの歌も覚え、口ずさんだり、友だちと一緒に歌い合えるようになっていました。

ひなまつりの歌も1番は歌えるようになりました。歌詞が難しいですが、『お花をあげましょ』ではお花なんだと分かり手をお花の形にしたり、『笛・太鼓』では演奏する仕草を見せたりと、言葉と動きを連想することも一緒に楽しんでいきます。

●**描画** 今月の描画を紹介します

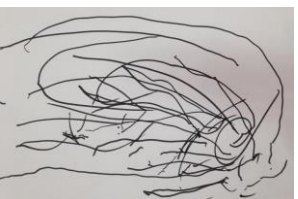
★**皆吉まなみさん**

『大きいオニさんだった。怖くなかった。ドンドンてこらした。逃げた、走って逃げた。豆投げた、エイて投げた。オニさんに当たった。痛いて言わした。』



★**福山みつきくん**

『(保:何かいたの?) あ、へびがいるー! (たくさんいるね。怖いね) シュッ!! (ここにも何かいるね) ライオンガーオ』



★**米村ここはさん**

『オニさんと豆かいた。大きいオニだった。怖くなかった。髪の毛さぼさぼしとらした。お友だち怖い怖い言わした。豆ポーイて投げたらイタイイタイ言わした』



★**下村きいさん**

『これ髪かいた。オニさん、にこにこのオニサン。でも怖いオニさん。だってオニサン好かん。小さいオニさんは好き。オニは一外てした。豆なくなった。』



●**造形**

～**雪うさぎを作ってみよう**～

ハサミの使い方にも慣れてきました。一回切りを続けることで雪うさぎの曲線に近くなるように保育士が導きながら取り組んでみました。「少し難しいけどできるかな」と聞いてみると「できる!」「やれるよ!」と意欲的に取り組んでくれました。線に沿って切るといことを意識することは容易なことではないですが、子ども達はとても集中して取り組みました。少し難しいことにも挑戦する力も身につけてきています。



～**おひなさま製作をしよう!**～



3月3日のひな祭りに向けて、おひなさま製作をしました。紙皿に色を塗る、折り紙を折る、紙皿にのりで貼る、扇子などのパーツをのりで貼るという流れを何日もかけて少しずつ仕上げていきました。最後のパーツ貼りが終わると、「できたー」「やったー」と本当に嬉しそうな声をあげる姿がとても印象的でした。日々の取り組みを終えてやっと完成したこと、自分で作り上げたという実感がとても強かったようでした。おひなさま製作を通して、子ども達が自分でできることを広げることがこんなに自分の喜びや力になることを教えてもらいました。

～**発表会を終えて**～

発表会をご観覧いただきありがとうございました。発表会当日まで読み聞かせを繰り返していく中で、言葉のくりかえしを覚えたり、即興あそびで再現したりして絵本の世界を楽しんできました。自然いっぱいの保育園の周りにはむしやむしやの森がたくさんあり、すぐに絵本の中の世界に入り込み、あんずぐみ全員で楽しむことができました。その証として発表会が終わった今でも歌を口ずさんだり、自分たちでごっこあそびを楽しむ姿がみられます。友だちと共通のイメージで遊ぶことを体験したことで、保育園に来ることが楽しい、また遊びたい、友だちと一緒に楽しい、など子どもたちの生活すべてに良い影響をもたらしています。

当日はたくさんのお客さんの前で、頑張りたいけど恥ずかしいな、どこにお母さんとお父さんはいるのかな? といろいろな思いを抱いたり、かっこいい所を見せる! といつもよりも大きな声を出す姿も見られ、子どもたちが自分の力で一歩踏み出す姿がありました。ご家庭では、絵本を購入して読んでくださったり、子ども達が経験したことのお話をしっかりと受け止めてくださったり、また一緒にごっこ遊びをしてくださったりと、発表会までの生活を温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。あんずさんみんなが『つのはなんにもならないか』ごっこが大好きになりました。



3月の目標

- ・ごっこあそびや簡単なルールのある集団あそびを通して自己主張しながらも、保育者が仲立ちとなり相手の気持ちに気付く
- ・身のまわりのことを自分でしようとする

食 事	・一定時間内（40分）に食べ終える （“からっぽ”を喜びに（量を加減する）「終わりよし」としたい気持ち
睡 眠	・眠る前に絵本やお話を読み聞かせて気持ちを落ち着かせ一人で眠れるように ・布団をたたみ片付けようとする
排 泄	・清拭の仕方が身についていく（自分で拭いて保育士が確認）
着 脱	・衣類の着脱ができる（ボタンとめも含む） ・衣服をたたむことができる
清 潔	・手洗いうがいを習慣化していく ・衣服が汚れたら着替える
からだ	・ケンケンが左右どちらの足でも5歩以上できる ・不安定な物に乗り、バランスをとり始める
なかま	・仲良しの仲間が出来る
ことば	・汚い言葉を多用する ・想像上の友達などをつくりながら修正可能な世界を広げていく ・過去形、未来形の言葉を使い始める（「キノウ～シタ」月曜日に休みの日のことを話す） ・経験を通して言葉が豊かになる
手指・探索	・ハサミで上手に切る ・折り紙を2つ折ることを知る ・のりを使って貼り絵をしよう
絵 本	・ごっこ遊びを豊かにし共通のイメージで楽しむ
描く・造る	・閉じた丸、止まった線、グルグル丸を「～つもり」で描いたり、後から意味づけしたりしようとする ・製作帳表紙作り ・折り紙製作
う た	・異なる音色を聞き分ける ・皆と一緒に声を揃えて歌うことを意識する